



# 赤村議会だより



## 新年のあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

村民の皆様におかれましては、穏やかで希望にあふれた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃より、村政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は新陛下がご即位され、平成から令和へと新しい時代を迎えました。

この時代も戦争のない平和な時代であることを願っております。

昨今、国内外においては、日韓の対立や長引く米中関係の冷え込み、度重なる自然災害、幼児虐待など様々な問題が山積みされており、その解決が急がれております。特に日本で毎年発生する自然災害については、スペイン・マドリードで開催された「国連気候変動枠組み条約第25回締結国会議(COP25)」でも言及され、早急な対策が求められております。

本村におきましては、昨年は村制施行130周年という節目の年であり、10月には多くのご来賓、村民のご出席をいただき、盛大に記念式典が開催され、130周年を祝うとともに今後の発展を誓いました。

近年の地方分権の進展により、住民に身近な市町

村の役割はますます重要になって参りました。本村においても少子高齢化、産業の振興、生活インフラの整備などの問題を抱える中、市町村議会とその議員が果たすべく役割及び責務の重要性もそれに伴い増大してきております。

二元代表制の一方の柱として、これまで以上に民意を反映させるため、「議会の権限と機能」を十分に発揮し、行政が推進する各種施策に対し、監視や提言を強化し、緊張感をもってその役割を果たしていく所存でございます。

村民の皆様にとりまして、本年がより実りある飛躍の年となりますよう心からご祈念申し上げますとともに、今後も一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



赤村議会議長  
大場 謙一



あけましておめでとうございます。  
本年もよろしく願いたします。

赤村議会議員一同

## 田川郡町村議会議長県外視察研修

期日/令和1年10月8日～10日

場所/石川県小松市・津幡町・富山県射水市・富山市

田川郡町村議会議長会は、石川県および富山県内での視察研修を行い、大場謙一議長がこれに出席しました。

石川県小松市は自然環境と農業のバランスが程よく保たれ、安心できる農産物の生産環境の適地である「環境王国」の認定を全国で11番目に受け、里山振興や農業振興を推進してきました。里山振興では、アーチ形石橋群が環境教育フィールドとして活用されたり、里山食堂やエコアグリ、勉強会など多彩な取り組みを行っています。

農業振興では、米のブランド化、販路拡大につなげる食味コンクール、地域ブランド加工品の認定制度により6次産業化を進めています。

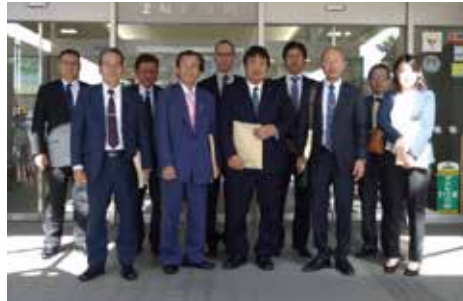
同県、津幡町は定住促進を図るため、定住促進住宅等取得奨励金、結婚相談員の設置、三世同居促進、新婚生活支援等の補助事業が充実しており、その効果も高いものとなっています。また、空き家対策についても改修費や撤去費用を助成する制度も設けられました。

続いて、富山県射水市ではコミュニティバス、デマンドタクシー運行事業の取り組みについて伺いました。コミュニティバスは公共交通機関が整備されなかった地域、高齢者や学生に配慮したものとなっています。このことで、地域間移動を容易にするとともに、地域間交流の活性化につながっていると感じました。バス停の間隔は200メートルから300メートルと高齢者が利用しやすいようになっていて、更にバスの利用が少ないところにはデマンドタクシーを運行し、サービスの向上に努めています。

富山市では、「栂市民プラザ」が行う中心市街地の再生を目指した活動を視察しました。市が策定した中心市街地活性化基本計画に基づいて、商店街の賑わいを取り戻す事業を展開しています。地元農産物の販売促進や情報発信のための店舗設置、50軒ほどの個人

店舗による来街者サービスや様々な交流イベントが実施されています。

訪れた視察地では、それぞれの自治体の創意工夫と、そこに关わる多くの住民との連携が地域の活性化につながっていました。



## 赤村議会議員行政視察研修

期日/令和1年10月16日～17日

場所/長崎県時津町

長崎県時津町議会を訪問し、議会広報紙の編集等について研修を受けました。

長崎県時津町は長崎市の北西に位置し、人口は3万人弱、主な産業は工業、商業です。

本町の議会が作成する議会だより「継坊」は、紙面の構成や内容も充実した素晴らしいものであり、赤村議会も平成25年度から、議会報告の一環として村広報と併せて議会だよりを発行していますが、まだまだ内容も充実させたいと考え、今回の研修を計画しました。町の広報は7名の議員で構成される「議会広報編集特別委員会」によって、記事の収集から写真撮影、執筆、構成に至るまでの作業を行っています。もちろん、「議会だより」ですから、委員会での審査内容や一般質問、回答が主なものになりますが、学校の部活訪問や、議会傍聴記、コラムなどを織り込み、親しみやすいものになっています。町広報紙の歴史、広報編集のためのマニュアルや、苦慮していることなど、多岐に渡る説明をいただきました。

今回の研修を今後の広報活動や紙面に活かしていきたいと考えております。



## 田川郡町村議会議員研修

期日/令和1年11月7日  
場所/大任町レインボーホール

この研修は年に一度、郡内議会議員研修の一環として行われています。今年は「町民に信頼され存在感のある議会を目指して」の演題で、京都府与謝野町議会議長の家城功さんから町議会の沿革、議会懇談会の様子、常任委員会の取り組み方や広報の充実等、多岐に渡る内容について講義をいただきました。

続いて、「福岡県総合戦略の取組について」の演題で、福岡県企画振興部副理事・総合政策課の石橋義浩さんから、福岡県の人口ビジョン・地方創生総合戦略(平成27年から31年度)を踏まえた第2期総合戦略(案)について説明を受けました。



## 第63回町村議会議長全国大会(創立70周年)

期日/令和1年11月13日  
場所/東京都NHKホール

この大会に大場謙一議長、佐武富實議員、三橋茂敏議員が出席しました。今年は全国町村議会議長会創立70周年にあたり、その記念式典が併催されました。式典は国歌斉唱、式辞の後、改革先進議会表彰及び永年功労者表彰が行われました。

引き続いての全国大会には安倍総理大臣、衆参両院議長をはじめとする国会議員の来賓祝辞と紹介に続き、「東日本大震災からの復興」や「地方創生のさらなる推進」など、28項目に及ぶ決議、「九州地方における交通網の整備促進に関する要望」など9項目の地区要望を満場一致で決議しました。



## 新過疎法制定実現総決起大会

期日/令和1年11月15日  
場所/東京都メルパルクホール

この大会に大場謙一議長が出席しました。総決起大会では、「新たな過疎対策法の制定に関する決議(9月定例会において意見書採択)」を宣言しました。引き続いての定期総会では事業報告、役員を選任(任期満了に伴うものを含める)、先の総決起大会で宣言した対策法の制定に関する決議、令和2年度過疎対策関係政府予算・施策に関する決議と要望、最後に要請活動方法について審議・満場一致で可決されました。



## 福岡県町村議会広報研修会

期日/令和1年11月19日  
場所/福岡市 自治会館

年に一度開催される広報研修会に、議会広報委員の佐武富實議員、三橋茂敏議員、大場信司議員、馬田和博議員が出席しました。

議会広報サポーターであり、埼玉県コミュニケーションセンター理事長の吉野政明さんから「議会だよりが読まれ、伝わる住民の関心を高め、参加促す情報共有を」と題し、講義をいただきました。

議会広報の意義に始まり、「議会だより」の傾向、目的、内容等について詳しく説明がありました。10月に行った長崎県時津町での研修に加え、議会広報委員会にとって有意義な研修となりました。

「議会だより」紙面にも徐々にではありますが、研修の成果を反映させていきたいと考えています。



## 令和元年度監査委員・会計管理者研修会

期日/令和1年11月22日  
場所/福岡市 吉塚合同庁舎

本研修会に、佐武富實監査委員(議会選出)が出席しました。今回の研修会は令和2年度4月より、新たな監査基準を設けて、監査を行うことになっており、そのための内容となっています。

今回は福岡県企画・地域振興武市町村支援課職員から「監査基準の策定にかかる地方自治法の改正とその趣旨」について説明を受け、その後会計士の塩塚正康さんより監査基準の策定及び監査業務の充実に向けて」と題した講義を受けました。監査制度の現状、総務大臣が示す監査指針、地方公共団体における監査業務の課題等、細部にわたり説明がなされました。

今後、新たな監査基準の策定を事務局と進めていく予定です。

# 令和元年第3回福岡県田川地区消防組合議会定例会

期日/令和1年11月22日  
場所/田川市 田川地区消防本部

本定例会に、浦野良一議員が出席しました。本定例会において審議されたのは平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定です。歳入（収入済額）1,943,069,950円、歳出（支出済額）1,928,314,199円、翌年度への繰越82,877,000円、不用額18,014,801円であり、慎重な審議のうえ、全会一致で認定されました。

# 令和元年第16回赤村議会定例会

期日/令和1年12月10日～12日

本定例会において執行部から提案された6案件及び、議会での選挙（指名推選）を行った赤村選挙管理委員会委員及び委員補充員について慎重に審議した結果を報告します。

議案番号	件名	内容	結果
議案第39号	赤村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告により、地方公務員の給与の額について示されたため、勧告に基づき改正するものです。	可決
議案第40号	赤村印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	住民基本台帳施行令等の改正に伴うもので、旧姓での印鑑登録が可能になりました。	
議案第41号	赤村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	令和2年度から適用される会計年度任用職員の給与と費用弁償について定めたものです。	
議案第42号	赤村一般会計補正予算(補正第3号)	17,754千円増額しました。村道改良工事に伴う物件補償費、小学校における遊具の撤去及び新設工事費、その他によるものです。	
議案第43号	赤村国民健康保険特別会計補正予算(補正第1号)	29,527千円増額しました。高額療養費や国民健康保険事業納付金の増、その他によるものです。	
議案第44号	赤村簡易水道特別会計補正予算(補正第2号)	2,758千円増額しました。水道本管修繕料、薬注タンクの購入費等です。	
選挙第1号	赤村選挙管理委員会委員及び補充員の選挙 【指名推選により決定】	※選挙管理委員 中村 司・蓑干和彦・中村かつえ・加来啓二 ※委員補充員 三橋 誠・梅田順一・大場 治・太田勝征 以上、敬称は略させていただきました。	

## 賛否の内容

○…賛成 ×…反対 △…挙手しない

議案	中村	浦野	小林	原	佐武	三橋	大場	馬田	春本
議案第39号 赤村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号 赤村印鑑条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号 赤村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号 赤村一般会計補正予算(補正第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号 赤村国民健康保険特別会計補正予算(補正第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号 赤村簡易水道特別会計補正予算(補正第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 総務文教常任委員会報告



委員長 大場 信司

本定例会において、総務文教常任委員会に付託された案件を慎重に審議した結果、議案第42号は可決することに決定しました。

## 産業経済厚生等常任委員会報告



委員長 三橋 茂敏

本定例会において、産業経済厚生等常任委員会に付託された案件を慎重に審議した結果、議案第43号及び44号は可決することに決定しました。また、漏水について早急に対策を講じるよう申し添えました。

## 赤村議会議員 12月 出席行事

- 2日 議会運営委員会(住民センター)
- 4日 人権問題講演会(住民センター)
- 8日 航空自衛隊築城基地航空祭(築上町)
- 10日～12日 第16回赤村議会定例会(住民センター)
- 14日 つばさふれあいコンサート(苅田町中央公民館)
- 20日 例月出納検査・監査(住民センター)
- 23日 あか村まち・ひと・しごと総合戦略策定委員会(住民センター)

## 赤村議会議員 1月 出席行事予定

- 8日(困) 部落解放同盟福岡県連合会新春旗開き(福岡市)
- 12日(回) 田川地区消防団合同出初め式(田川市)  
赤村新成人のつどい(住民センター)
- 15日(困) 福岡県町村議会議員研修会(福岡市)

※「議会だより」につきましては、赤村議会広報委員会が編集を行ったものです。(12月20日現在)